

平成 28 年度 飯山市美術館事業報告 写真資料

1 『名誉市民・長谷川青澄生誕 100 年記念特別展示』



2 企画展『駒村久彌展 ―画業 70 年の軌跡―』
展示風景



開会式

駒村久彌氏によるギャラリートーク



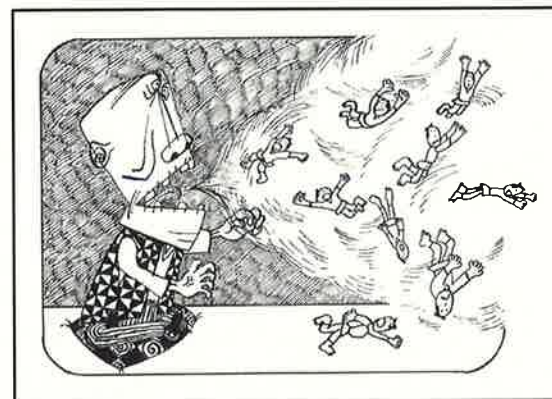
ロビーコンサート



浦野吉人氏講演会『駒村久彌の画業について』



3 ギャラリー企画展『馬場剛史挿絵作品展』



4 『城南・城北中学校美術部展』



5 ギャラリー企画展『安原半田南画展』



6 美術館ワークショップ『泥絵具で絵を描こう！』（上）・『飯山の土を使ったコラージュ作品づくり』（下）



7 彫刻家・米林雄一氏による特別授業『体験！宇宙モデリング』



飯山在住の画家「画業70年の軌跡」

駒村久彌展

飯山に生まれ育ち70年にわたって作品を描き続けている画家、駒村久彌さん（85・神明町）の個展が10月30日まで飯山市美術館で開かれている。同館での個展は2000年以来2度目で、1949年から今年の春陽展に出品した作品まで83点を展示している。



展示作品を解説する駒村さん

駒村さんは飯山北高在学中に美術教師だった河野文夫（1908―91）から油絵を学び、飯山出身の日本画家、長谷川青澄（1916―2004）からも指導を受け、卒業後は洋画家の岡鹿之助（1898―1978）に師事。飯山で創作を続けながら55年（昭和30）に春陽展で初入選、79年（昭和54）には同展研究賞、81年（昭和56）にはフィナール国際展入選、サロン・ド・メ予選入選を果たし、83年（昭和58）に春陽会準会員、90年（平成2）には春陽会会員に推挙されるなど作家としての評価を確立した。

開会初日の3日にはギャラリートークがあり、家業（米屋）の跡継ぎとして美

飯山市美術館 10/30まで



作品に囲まれながらギャラリートーク

術学校への進学を断念しながらも創作に励み、また家業を継いだからこそヨーロッパへの旅行も叶えて「自分の栄養となった」ことなどを紹介。展示会場を歩きながら思い出深い作品を紹介するなどした。

同館の開館時間は午前9時から午後5時。月曜日（祝日の場合は翌火曜日）休館。入館料は大人300円。問い合わせは同館 ☎ 62・1501へ。

りふれ

2016年(平成28年)9月10日 土曜日

(2)

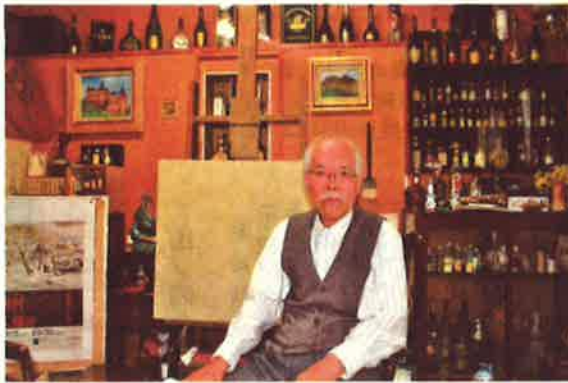
9月19日は 敬老の日

今も活躍する先輩たち

(特集2~3ページ)

飯山で画業70年の軌跡展

洋画家 駒村久彌さん(85)



楽しみは音楽とお酒と笑う駒村久彌さん
(神明町の自宅で)

飯山市出身在住の画家・駒村久彌さんの画業70年の軌跡を振り返る企画展「駒村久彌展」が、飯山市美術館で開催されている。

駒村さんは1930年11月生まれ。同市神明町で奥さんと米穀店を営みながら、85歳の現在も意欲的に創作を続ける洋画家(春陽会会員)だ。同美術館では16年ぶりの個展。画家を志した少年時代の作品をはじめ、昨年の構想がまとまらない

から構想して3、4か月かけて今年描き上げたという最新作「雪」も展示している。昭和レトロな雰囲気、クラシック音楽が流れる奥の部屋から、奇麗に口髭を整えた粋な久彌さんが出迎えてくれた。部屋の中に白キヤンパスが置かれていて、音楽が好きでね。聞いてみると景色が浮かんでくる。私はキャンパスをさんざにらんで、構想がまとまらない

と筆を持たないんだよ。にこやかに語ってくれた。

飯山北高時代、校内に乗馬クラブを作ったり、世界共通語の 에스ぺ란토 語研究に力を入れた。絵画との出会いは、25歳の春陽展初入選。海外旅行が一般的ではなかった昭和40年代に、エスぺ란토 語を駆使してヨーロッパ11カ国を一人でスケッチ旅行したほか、何度か渡欧。「放浪癖があったからねえ」と笑い、ユーモアたっぷりに旅のエピソードも語ってくれた。

朝は5時から6時起き。音楽を聞き店番



2階のアトリエから見える景色を描いた最新作の「雪」(2016)



構想を練るため「ここで瞑想することもある」という改装した米蔵

田市で年に1、2回開かれた岡先生の研究会に毎年参加し、東京のアトリエも作品を持参して訪問。長い画業の中では「波」もあり、ずい分落ち込んだ時もあるが、岡先生に激励されたり、多くのことを教えてもらったとしみじみ。

25歳で春陽展初入選。海外旅行が一般的ではなかった昭和40年代に、エスぺ란토 語を駆使してヨーロッパ11カ国を一人でスケッチ旅行したほか、何度か渡欧。「放浪癖があったからねえ」と笑い、ユーモアたっぷりに旅のエピソードも語ってくれた。

朝は5時から6時起き。音楽を聞き店番

をしながら、最近はず。飯山市美術館の展示は10月30日まで。9時~17時、月曜休館。同館 ☎ 026-962-1501。



ここに 生きる

第133回

美術館で挿絵作品展
8年・101の挿絵一堂に

馬場 剛史さん(41)

―(前略)描く時に一番考えるのは、登場人物の心の動きがきちんと出せるよう表情や体の動きを考えて描くことです。ですが、な

かなかうまくは描けません。新聞が届くたびにがつくりすることも多くありますが、これからはより良い挿絵を目指し、描いてゆきたい

いと思っています―。

本紙・北信濃新聞の3週目に掲載している、蔵地蔵さんの「奥信濃今昔ばなし」。2008年4月から、その挿絵を描いているのが馬場剛史さん(41)である。

中野市壁田出身で、高社中・立志館高から嵯峨美術短大を経て、京都精華大学美術学部版画分野を卒業。美術教師として今、松本工業・上伊那農業高で教鞭をとる。

もの心ついた時から絵を描くことが好きだ

った。そして、須坂に

ある版画美術館で、版画により強く魅かれるようになった。版木という、制約された空間にどう表現するか。簡略化する面白さもあるという。

大学卒業時、京都で最初の作品展「起承転々」展を開いて以来、主に長野市で作品展を開催。中野市の銅石版画ミュージアムや、飯山市美術館、旧市民会館でも個展を開いた。

本紙「奥信濃今昔ばなし」に挿絵を描き始

めたのは2008年4

月のこと。以前から新聞の挿絵に興味はあったが、思いがけず知己を通して話があり、本紙の依頼を引き受けた。以来、毎月1回、3週目に掲載される「奥信濃今昔ばなし」の挿絵を描き続けている。

依頼者として、改めて話を聞くことを申し訳なく思ったが「挿絵の苦労は何?」と聞いた。「毎回、絵としての結論を出さなくてはいいけないことですかね」と、話す。人懐こい笑

顔、誠実さあふれる話しぶりに引き込まれる。

11月4日から約1カ月間、飯山市美術館で開催される、同館ギャラリー企画展「馬場剛史挿絵作品展」。本社が後援する。展示が予定されるのは挿絵60点と、版画・ペン画など約10点。

本紙の挿絵もこの10月号で101回を数えた。作品展にはこれまでの101編の「奥信濃今昔ばなし」が、全編展示されることになっている。

ほんわか温か挿絵展

飯山市美術館で
馬場剛史さん 今昔ばなし100編展示

本紙・北信濃新聞に
月1回連載している蔵
地蔵さんの「奥信濃今
昔ばなし」。2008年
4月からその挿絵を描
き、ことし9月それが
100回を数えた馬場
剛史さん(41)Ⅱ中野
市壁田・教員Ⅱの挿絵
など作品展が、4日か
ら飯山市美術館で始ま
った。

前日の3日には同館
ロビーで、関係者によ
る開会セレモニーが行
われ、石田一彦美術館
長は「先生には私が富
倉活性化センターにい
た当時、ムラの宝物展
を企画した際にご協力
いただいた。先生の作
品は表情、動きが豊か
でほっとさせられる」
とあいさつ。馬場さん
は「2008年から毎
月1回描かせていただ
き、100回の節目を
迎えることができた。
ありがたいことだ。毎
回登場人物の気持ちを

考えて描いている。ご
感想をいただければう
れしい」と話した。
1階ロビーには馬場
さんの版画・ペン画な
ど作品が、2回ギヤラ
リーには本紙に連載し
た、馬場さんの挿絵入
り奥信濃今昔ばなし全

編(100話)が、ボ
ードで展示され、代表
的な作品数点が、拡大
されて展示されている。
3日の開会セレモニ
ーには、奥信濃今昔ば
なしの著者、野口利夫
さんも顔を見せ、馬場
さんの8年の軌跡を称
えるところにも、今昔ば
なしに欠かせない存在
となっている挿絵に知
る、馬場さんの思いに
感謝を伝えた。

馬場剛史挿絵作品展

期 間
～12月4日(日)
時 間
午前9時～午後5時
場 所
飯山市美術館
入館料
◇一般300円
◇小中学生200円
問い合わせ
飯山市美術館
☎62・1501



お祝いに駆けつけた野口さんと今昔ばなしのボードを背に



粘土で人形を作る飯山
小学校の児童

粘土工作で知る 宇宙の不思議

飯山市美術館は1日、東京芸大名誉教授で小布施町にアトリエを構える彫刻家の米林雄一さん(74)によるワークショップ(体験講習会)を飯山小学校で開いた。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙実験にも関わっているという米林さん。指導を受けた4年生61人は粘土での工作を通じて、重力と無重力の関係について学んだ。

米林さんは、粘土で作られた人形が宇宙

彫刻家・米林さん 飯山小で講習会

船の中で宙を浮かぶ映像を紹介。地球では重力があるため人形は落下してしまう」と説明した。子どもたちは粘土を使って人形や、アニメのキャラクター、動物などを作っていた。子どもたちが粘土で作った人形の腕を伸ばすと、下に垂れてちぎれてしまう作品もあり、子どもたちは重力の影響について理解を深めていった。

宮内晴生君(10)は「工夫して楽しく作ることができた。宇宙で人形が宙に浮くのはすごいと思った」と話していた。

「宇宙モデリング」

飯山小で児童が体験



ものづくりの楽しさ、宇宙の広がりを感じたワークショップ

東京藝術大学名誉教授で小布施町にアトリエを構える彫刻家、米林雄一さん（74・東京都）によるワークショップが1日、飯山小学校であった。飯山市美術館が同校と協力して企画した特別授業で、4年1組と2組の児童が参加。軽量樹脂粘土を使って「ひとがた」を製作した。

米林さんは国際宇宙ステーションで実施された実験「宇宙モデリング」の代表研究者で、授業では宇宙飛行士が船内実験室で軽量樹脂粘土を使ってひとがたを2体製作するようすを収めた映像を見せて、平たいひとがたが船内に浮かび漂うなか、笑顔を見せて製作に没頭する宇宙飛行士の姿を紹介した。

児童は映像を見終えると同じ素材を使って宇宙飛行

士と同じようにひとがたの製作に挑戦。まずは両手で粘土をこね、円盤形にした粘土に切れ目を入れたり、ちぎったりしながら形を作り、細部も工夫。重力の影響で立てて崩れ落ちたり、形が思うようにならないと粘土を足したり、作り直したりを繰り返し、作っていた。小林裕太君（金山）は「作っていていろんな形ができてビックリした」と驚き、大塚奏帆さん（新町）は「難しかったけど楽しかった」と喜んだ。

また米林さんは製作を指導しながら手で粘土を触ること自体が「楽しい時間」であることや、人間の手や指先は細かい作業に適していること、また宇宙は未知が広がっていて興味深い対象であることなども説いていた。

北信ローカル 2016年11月4日

宇宙モデリングを体験

飯山小
4年生

米林さんがワークショップ

飯山小学校で1日、同校と市美術館が連携して、東京藝術大学名誉教授で小布施町にアトリエをもつ彫刻家・米林雄一さんのワークショップが行われた。

米林さんは国際宇宙ステーション「きぼう」で新たな価値の創出を目指し、文化・人文社会科学分野の利用推進を目的としたパイロットミッションのうち、紙粘土を使って宇宙飛行士が『ひとがた』を

制作する芸術創作活動

「宇宙モデリング」(粘土を用いた造形)を提案し、2008年に「きぼう」日本実験棟で宇宙飛行士により実施された。

同日は4年1組と2組の児童が宇宙モデリングを体験。最初実際に「きぼう」内で行われた造形活動の様子を映像で解説し、無重力状態で漂い、まだ柔らかいにもかかわらず曲がらない『ひとがた』

の不思議を児童に投げかけた。

その後、実際に同じ粘土を使って『ひとがた』の創作活動を行った。米林さんは「よく『こねる』ことが大事。長年やって来ている人でもそこに面白味、楽しみを感じている」「人の指は繊細に出来ている。強く押すことも、優しくすることもできることを感じてほしい」などと話し、児童一人ひとりにアドバイスをしながら見て回り、児童は平べったくしたり、ちぎったり、貼り付けたりしながら『ひとがた』を作り上げていた。



『ひとがた』の不思議を投げかけたワークショップ

児童たちからは『ひとがた』を作るのは難しかったけど楽しかった」などの感想が聞かれた。米林さんは「難しいというのは当然のこととて大人でも難しい。し

かし、面白いと感じてもらえたなら、きょうはそれでいい。思いつきを形にするにはあきらめないことが大事」と、授業を締めくくった。

平成28年度 月別利用状況

上段＝入館者数・下段＝入館料

飯山市美術館・伝統産業会館

月	個人		団体		共通個人		共通団体		4館共通				有料入館合計	無料入館		総入館合計	累計
	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	大人	小中	団体 大人	団体 小中		大人	小中		
4月	59	0	0	0	10	0	0	0	62	1	0	0	132	604	89	825	
	17,700	0	0	0	2,400	0	0	0	14,880	160	0	0	35,140				
5月	73	1	20	0	38	14	0	0	96	1	0	0	243	111	0	354	1,179
	21,900	200	4,000	0	9,120	2,240	0	0	23,040	160	0	0	60,660				
6月	78	0	150	0	16	0	0	118	75	0	0	0	437	111	8	556	1,735
	23,400	0	30,000	0	3,840	0	0	9,440	18,000	0	0	0	84,680				
7月	49	3	0	0	27	0	0	0	64	0	43	0	186	160	31	377	2,112
	14,700	600	0	0	6,480	0	0	0	15,360	0	7,310	0	44,450				
8月	57	3	44	0	34	3	0	0	67	6	0	0	214	76	13	303	2,415
	17,100	600	8,800	0	8,160	480	0	0	16,080	960	0	0	52,180				
9月	160	2	2	102	16	2	39	144	62	1	0	0	530	288	10	828	3,243
	48,000	400	400	10,200	3,840	320	6,630	11,520	14,880	160	0	0	96,350				
10月	199	0	2	20	24	0	0	0	93	3	0	0	341	759	342	1,442	4,685
	59,700	0	400	2,000	5,760	0	0	0	22,320	480	0	0	90,660				
11月	90	1	52	0	21	0	0	0	50	1	0	0	215	192	89	496	5,181
	27,000	200	10,400	0	5,040	0	0	0	12,000	160	0	0	54,800				
12月	34	2	0	0	9	0	0	0	31	0	0	0	76	85	2	163	5,344
	10,200	400	0	0	2,160	0	0	0	7,440	0	0	0	20,200				
1月	19	0	0	0	7	0	0	0	16	0	0	0	42	66	1	109	5,453
	5,700	0	0	0	1,680	0	0	0	3,840	0	0	0	11,220				
2月	40	0	0	0	6	0	2	0	23	0	0	0	71	70	8	149	5,602
	12,000	0	0	0	1,440	0	340	0	5,520	0	0	0	19,300				
3月	73	5	0	0	22	1	1	0	25	0	0	0	127	63	4	194	5,796
	21,900	1,000	0	0	5,280	170	0	0	6,000	0	0	0	34,350				
合計	931	17	270	122	230	20	42	262	664	13	43	0	2,614	2,585	597	5,796	
	#####	3,400	54,000	12,200	55,200	3,200	7,140	20,960	#####	2,080	7,310	0	#####				

過去9年間における入館者数の推移

入館者内訳(人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
4月	885	827	933	633	630	970	780	975	825	725
5月	515	505	425	821	341	504	620	722	354	275
6月	349	215	256	454	432	455	269	777	556	
7月	1,033	464	655	753	579	510	903	459	377	
8月	521	152	849	731	844	716	834	494	303	
9月	595	617	978	961	787	513	822	917	828	
10月	2,735	2,372	2,950	2,053	1,608	1,600	1,189	1,429	1,422	
11月	1,070	506	723	393	483	563	486	514	496	
12月	80	196	176	39	139	238	171	137	163	
1月	61	57	60	178	63	63	118	190	109	
2月	114	65	70	138	179	151	120	206	149	
3月	77	112	53	146	269	215	452	199	194	
合計	8,035	6,088	8,128	7,300	6,354	6,498	6,764	7,019	5,776	1,000
H9～累計					145,021	151,519	158,283	165,302	171,078	

大人	1,024	684	1,142	1,127	1,282	1,104	1,199	1,009	931	
小中	32	16	32	22	22	23	51	30	17	
大人団体	716	699	975	592	337	276	179	202	270	
小中団体	210	251	299	231	278	114	112	102	122	
無料	3,866	2,739	3,789	3,532	3,156	3,235	3,006	3,390	3,182	
大人共通	856	561	640	557	556	337	258	408	230	
小中共通	22	45	14	24	23	7	11	18	20	
大人団体共通	271	361	343	398	247	96	131	221	42	
小中団体共通	1,038	732	894	817	453	170	460	349	262	
4館共通大人						1,030	993	1,227	664	
4館共通小中						24	41	27	13	
4館共通団体大人						82	113	36	43	
4館共通団体小中						0	210	0	0	

入館料合計	815,870	635,070	859,570	754,540	699,550	779,300	820,540	830,510	604,150
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

開館日数	299	300	299	273	300	299	305	299	302
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※28年度団体入館数内訳

小学校
一般

4校(市内1校)
16団体(県内公民館、老人クラブ等)

平成 29 年度飯山市美術館特別展
『(仮称) 中川岳二展』開催概要(案)

- 1 企画展名 飯山市美術館企画展『(仮称) 中川岳二展』※副題含め検討中
- 2 開催趣旨 埼玉県出身中野市在住の木工作家・中川岳二の木工作品を紹介します。
中川氏の作品は、樹木の色や木目を活かし、その組み合わせにより文様などを表現する寄木(よせぎ)・木(もく)象嵌(ぞうがん)という高度な技法で制作されていますが、親しみやすく洗練されたデザインから幅広い世代の支持を受け、国内外から注目されています。
中野市への移住直後に飯山市内のギャラリーで作品展を開催しており、このときの『出会い』や『経験』が現在の創作活動に影響を与えているとのことで、現在の活動の原点が飯山であったことから、中川氏にとって初の大規模な作品展を当地にて開催することになりました。これまで個々に発表してきた大型作品を一堂に展示するほか、北信地方にちなんだ新作を発表する予定です。
また、「ずっと大切にしてもらえるもの、子供のためになるものをつくりたい」という思いで制作を続ける中川氏が影響を受けた組み木デザイナー・小黒三郎氏の作品を紹介している『小黒三郎組み木館 ゼートピア信州』のギャラリー企画展を、2階ギャラリーで同時開催することによって相乗効果を図ります。
一階ロビーには、中川氏と小黒氏両者の作品を実際に手で触れて遊ぶことのできるプレイスペースやおもちゃ作りの体験コーナーを設け、これまでの美術館のイメージとは違った“親子で遊べる企画展”を開催します。
- 3 出品作品 中川岳二氏の代表作品及び小品等、約 50 点
- 4 主 催 飯山市教育委員会
- 5 後 援 信濃毎日新聞社、北信ローカル、北信濃新聞社、公益財団法人八十二文化財団、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、i ネット飯山、飯山商工会議所、飯山市芸術文化協会、信州いいやま観光局
- 6 会 期 平成 29 年 9 月 16 日(土)～11 月 12 日(日) ※開館日数 50 日
- 7 会 場 飯山市美術館 1 階展示室
- 8 開館時間 9:00～17:00 ※入館は 16:30 まで
- 9 休 館 日 毎週月曜日
- 10 入 館 料 大人 300 (200) 円、小中学生 200 (100) 円 ※ () 内は 20 名以上の団体料金
- 11 付帯事業 (1) 開会式・テープカット: 9 月 16 日(土) ※時刻は調整中
(2) 体験教室・ワークショップ: 9 月 30 日(土)・31 日(日)
- 12 担 当 飯山市教育委員会
文化振興部長(兼) 文化交流課長(兼) 美術館長 栗原良満
担当者: 美術館係長 井端伸介
連絡先: 飯山市美術館 〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 1436-1
TEL/FAX 0269-62-1501

中川 岳二 (なかがわ たけじ) 略歴

- 1978年 長野県生まれ埼玉県育ち
2000年 丹波の森ウッドクラフト展 奨励賞
2001年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工専攻卒業
2004年 全国木のクラフト展 特別賞
2005年 6th S. I. C. F. 審査員特別賞
2006年 テイクジー・ブロック、テイクジー・ズー販売開始
2007年 松屋銀座「シーズンスタジオ」にて個展
「スペース アルテマイスター」にて個展
2008年 「ギャラリーミタテ」にて個展
2012年 『NAGANO 新 CONCEPTUS—長野ゆかりの若手アーティスト10人展—』出展(志賀高原ロマン美術館にて)
テイクジー・トイズを「中川岳二」と「テイク・ジー」に分けて活動をはじめる。
2013年 『信州の工芸作家展 4人の作家の表情』出展(世界の民俗人形博物館にて)
2014年 自宅ギャラリーにて個展『こてんこてん展』(中野市で2回目の個展)
2015年 自宅ギャラリーにて個展『こてんこてん展』(中野市で3回目の個展)

作品について

中川岳二の作品は寄木・木象嵌という技法によって制作されています。寄木・木象嵌とは、樹木特有の色や木目を活かし、その組み合わせによって文様など描く技法です。ケヤキ・ウォールナット・ホワイトアッシュ・チークの4種の木を、配色に合わせてそれぞれの厚さ、大きさに製材しクランプで圧着します。顔などに目や数字の下穴を開け、正確に切り出した材料をはめ込みます。それを顔や体の形に削り出し、オイル塗装で仕上げています。

(<http://nakagawa.take-g.com/profile> 中川岳二 HP より)

制作活動について

- ・自身の作家活動は『中川岳二』として作品を発表し、スタッフと共に活動する木製品製造販売会社(おもちゃ/家具)『テイクジー』では、商品としての木製品を制作している。
 - ・もともとは家具職人として生きていこうと考えていた作家の転機は、大学3年のときに授業で出された課題だったとのこと。『機能』から離れ、飾るためだけのものをつくるという課題だった。とはいえ、日常の自分からかけ離れたオブジェ等の作品にはしたくないと思い、考案したのが『ロボット』で教授陣の評価も高く、なにより自分の中でも手ごたえを感じた経験だったとのこと。
- この経験が原点となり、現在の制作活動に通じているとのこと。

飯山とのご縁

父親の生家のある長野県中野市に工房を構えたころ(2000年?)、奥さんとの2人展をぎやらりい白銀(飯山)で開催した。長野県において本格的な作家活動をスタートさせ、初の展示が飯山であったという縁もあり、2017年の飯山での個展は、中川氏のこれまでの成果を披露するにふさわしい機会になると思われる。

中川岳二の作品写真



卓上お江戸 2000 年



キーペット
60×70×H60mm



赤ずきんとねぎぼうず



シノとコツ



ちんぷんとかんぷん 2007 年 H40×W1000×D350 mm



一機とツトム
2010 年 H300×W200×D200mm



あぎょうとうんぎょう
2010 年 H1100×W400×D350mm

ごあいさつ

この度、組み木を観て、作って、遊んで楽しめる場として、熊本県小国町にあるズートピア信州「小黒三郎組み木館ズートピア信州」を開館致しました。

「小黒三郎の組み木」の素晴らしさや、一枚の板から様々な組み木を作り出すよこびや楽しさをぜひ味わって頂きたいと思います。

組み木を愛する人が増えますように、組み木を通して、たくさんの出会いが生まれ、交流が發展しますように。

館長 池田 憲一郎

開館に寄せて

池田憲一郎さんに初めてお会いしたのは、1991年2月、松本市での初めての個展を、ちいさいおうち・絵本のギャラリーで開いた折、会場に訪ねて下さったときでした。自宅の敷地に「小黒三郎組み木館」を建設したいと、初めてお会いして伺いました。池田さんの想いが今、いよいよ実現することになり嬉しいかぎりです。

本館が組み木作りを楽しむ人たちの拠点となり、大人と子供の交流の場となりますように。

組み木デザイナー 小黒 三郎

Shinshu

ご利用案内

開館日 : 毎週 金・土・日曜日
開館時間 : 10:00~16:00
入館料 : 大人 ¥200
小中学生 ¥100
未就学児 無料

受付時間 : 10:00~15:30

所要時間 : 30分~

料金 : ¥840~¥2625

(入館料別・材料費込)

組み木工房



◆電車でお越しの場合

JR長野駅より長野電鉄に乗り換え信州中野駅下車
・信州中野駅より長野電鉄バス本郷行き、信州中野駅前下車、徒歩10分
または、信州中野駅よりタクシーで20分

◆お車でお越しの場合

上信越自動車道 信州中野ICより20分



小黒三郎組み木館 ズートピア信州

〒383-0062 長野県中野市笠原310

TEL&FAX : 0269-22-6922

E-MAIL : info@zootopia.jp

公式サイト : http://zootopia.jp

小黒三郎組み木館 ズートピア信州

木々に囲まれた古民家に仲良く集う組み木たち

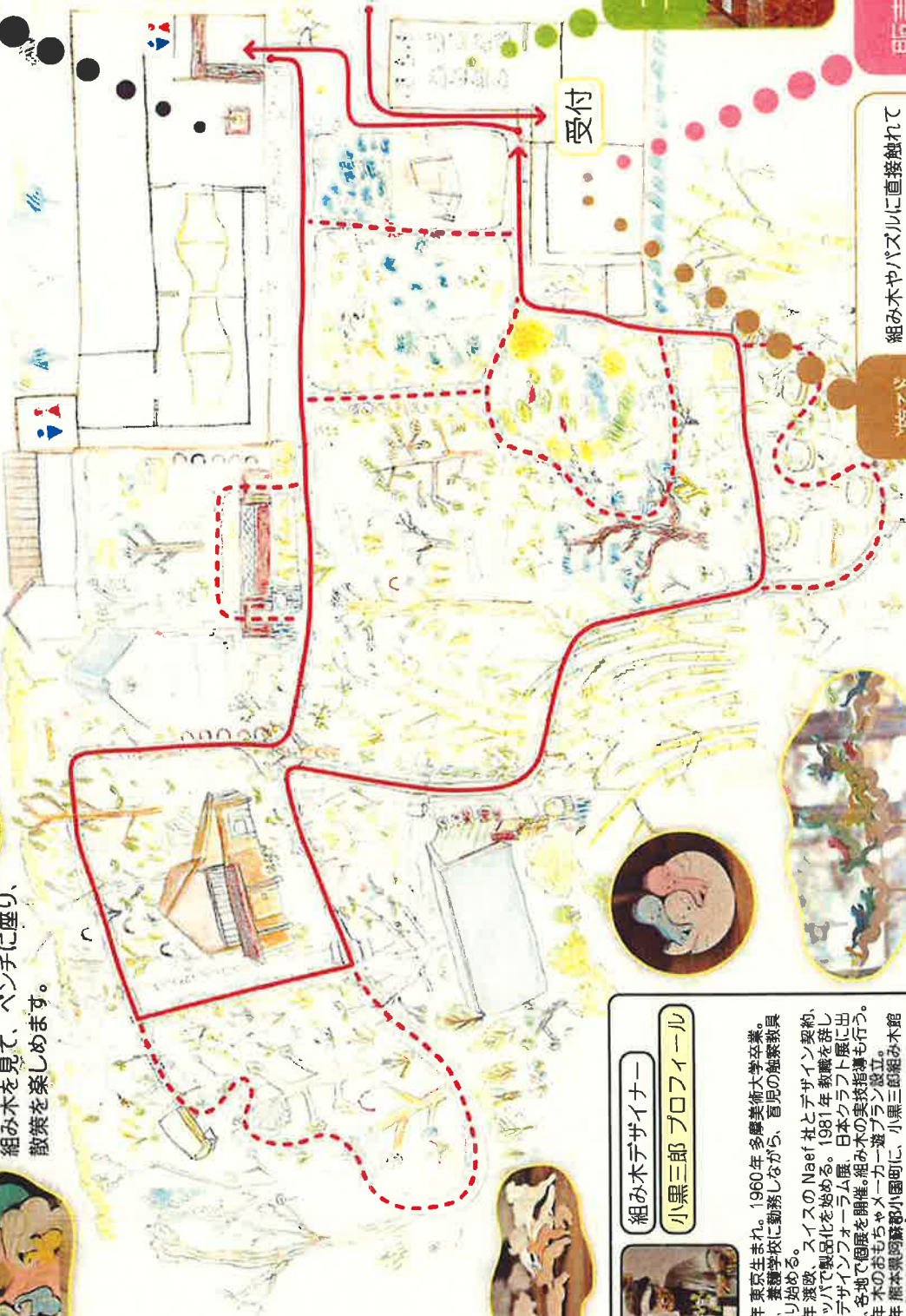


小黒三郎 組み木館 スタートピア信州

散策 MAP

木や花の名前をおぼえながら
組み木を見て、ベンチに座り、
散策を楽しめます。

ケヤキの厚板や古いたんすの上に、
初期の作品から最新作までが並びます。



電動糸のこを使って板をくり抜く。
組み木作りの体験コーナー。



お気に入りの組み木を
お買い求めいただけます。
カタログでのご注文も承ります。

組み木やパズルに直接触れて
楽しく遊びましょう。



組み木デザイナー

小黒三郎 プロフィール

1936年 東京生まれ。1960年 多摩美術大学卒業。
盲学校、養護学校に勤務しながら、盲児の触覚教具
をつくり始める。
1980年 渡欧、スイスのNaef社とデザイン契約。
ヨーロッパで製品化を始める。1981年 報酬を辞し
てからデザインフリーランス。日本クラフト展に出
展の他、各地で個展を開催。組み木の技法指導も行う。
1983年 木のおもちゃメーカー遊プラン設立。
1995年 熊本県阿蘇郡小国町に、小黒三郎組み木館
「ZOOTOPIA」オープン。
おもちゃ協議会員、日本クラフトデザイン協会会員。
鳥取在住。

小黒 三郎（おぐろ さぶろう） 略歴

- 1936 年 東京に生まれる
1960 年 多摩美術大学絵画（油絵）科卒業
1969 年 神奈川県の盲学校、養護学校に勤め、教具づくりを始める。
1979 年 松屋銀座遊びのギャラリーにて「小黒三郎・組み木遊具展」開催。
1980 年 ロンドン・ビクトリア&アルバート美術館にて「ジャパンスタイル展」に出展、渡欧。
スイスのネフ社とデザイン契約。
組み木デザイナーとして各地で個展を開く。
1983 年 木のおもちゃメーカー「遊プラン」設立。
1995 年 熊本県阿蘇郡小国町に小黒三郎組み木館「ZOOTOPIA」オープン。
1999 年 「組み木創作の会」を有志と共に起し、「組み木フェスティバル」を通して組み木の普及に努める。
2002 年 沖縄の県立工芸指導所の講師として、組み木作りを初めて沖縄へ持ち込む。
2008 年 韓国青太山にて「WCF 主催の第 1 回木工指導者講習会」で組み木作りを初めて韓国に伝える。
2010 年 韓国華城にて「第 4 回木工指導者講習会」へ講師として参加。
2011 年 千曲川ハイウェイミュージアム（小布施町）にて 4 ヶ月にわたり「小黒三郎・組み木の世界展」（組み木作り 40 年の歩み）開催。
ソウルにて「Kourea Wood industry Fair」に参加。
2012 年 長野県中野市に「小黒三郎組み木館 ズートピア信州」オープン。

全国各地で個展活動、組み木の実技指導、ワークショップ、学校での特別授業を行う。

日本おもちゃ会会員
日本クラフトデザイン協会会員
組み木創作の会会長

コレクション
北海道立近代美術館
日本郷土玩具館
富山県こどもみらい館ほか

著書
小黒三郎の組み木（大月書店）、組み木の夢（創和出版）ほか多数

米林 雄一（よねばやし ゆういち） 略歴

- 1942 年 東京都豊島区に生まれる
- 1964 年 金沢美術工芸大学彫刻科卒業。
- 1966 年 東京芸術大学大学院彫刻科修了
- 1979 年 第 14 回現代日本美術展 東京国立近代美術館賞受賞
- 1981 年 第 35 回記念二紀展文部大臣賞受賞
- 1983 年 第 16 回現代日本美術展 千葉県立美術館賞受賞
- 1985 年 現代彫刻の歩み - 木の造形 - (神奈川県民ホールギャラリー)
文部省在外研究員(イギリス)
- 1987 年 第 13 回平櫛田中賞受賞
東京芸術大学創立 100 周年記念 - 教官展
- 1991 年 第 20 回現代日本美術展招待部門
- 1992 年 文部省国際芸術研究員(アメリカ)
- 1993 年 「空の日」芸術賞受賞(南北米・欧州)
- 1996 年 東京芸術大学美術学部彫刻科教授となる
- 1999 年 時の曳航 - 米林雄一展 (現代彫刻センター)
- 2000 年 [微空] へのアプローチ 米林雄一展 (富山県立近代美術館)
- 2004 年 米林雄一展(相生森林美術館)
- 2008 年 東京芸術大学退任. 米林雄一展 (東京芸術大学大学美術館)
- 2009 年 米林雄一・微空からの波動 (ミウラート・ヴィレッジ)
- 2010 年 アトリエナチュラル彫刻ギャラリー開設 (小布施・中町)
- 現在、東京芸術大学名誉教授



微宇音 1992 年 微宙音 1992 年



宇宙ステーション軌道モデル 2006 年



微航音 1999 年

木原正徳（きはら まさのり） 略歴

- 1958 年 長野県飯山市に生まれる
1977 年 飯山北高等学校卒業
1981 年 武蔵野美術大学卒業
二紀展《93、98 同人賞、01 安田火災美術財団奨励賞、03 会員推挙、04 会員賞、
05 田村賞、07 宮本賞、09 委員推挙》
1986 年 伊藤廉記念賞展
1987 年 東京セントラル美術館油絵大賞展《93》
1996 年 春季二紀展《東京セントラル美術館賞》
2000 年 別府現代絵画展《01》
2000 年 青木繁記念大賞展《わだつみ賞、01》
2003 年 損保ジャパン美術財団選抜奨励展（東郷青児記念美術館）
2008 年 木原正徳・野口俊文二人展（飯山市美術館企画）
2008 年 文化庁/芸術家海外留学特別派遣（イタリア/ミラノ）
2011 年 「生まれるイメージ」（山形美術館企画）

個展

- 銀座スルガ台画廊 《98、00、09》
八十二文化財団ギャラリー《00》
銀座東和ギャラリー《06》
銀座画廊宮坂《11》他、14 回
現在 二紀会委員、東北芸術工科大学教授



ひとかたち《野の移ろい》



ひとかたち《宙の声・地の花》



ひとかたち《野の移ろい》

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

* 2016/5/12現在 飯山市美術館

No	作家名	種別		出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
1	青木勇治	絵画	油彩	飯山市	長野市		H24 個展		—
2	池田春男	写真	人物/風景	飯山市	神奈川県		H23 個展		—
3	いとうまき	絵画	イラスト	飯山市	同		H17 個展		—
4	猪瀬清四郎	彫刻		飯山市静間	東京都	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
5	内田寛	絵画		名古屋市	同	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ H17 個展	五郷研修館使用	—
6	浦野吉人	絵画	油彩等	飯山市	長野市	H13 浦野吉人展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
7	碓井昭男	工芸	陶芸	飯綱町	同		H23 個展		—
8	岡本邦治	絵画		飯山市	東京都				—
9	川口昇	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展		療養中	—
10	川口和平	写真		飯山市	長野市		H24 個展		—
11	含翌会	絵画	日本画	—	—	H11 含翠会展		長谷川青澄一門	—
12	北岡康隆	絵画	日本画	中野市	同				—
13	木原正徳	絵画	油彩	飯山市 太田	山形県	H16 飯山の美術家展 H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
14	栗田貞多男	写真	自然風景	長野市	同		H27 個展		—
15	小林敬一	写真		飯山市常盤	同				—
16	小林野々子	絵画	浮世等	長野市	同		H25 個展		—
17	小林宏	絵画	日本画	飯山市木島	山梨県	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			—
18	駒村久彌	絵画	油彩	飯山市	同	H12 駒村久弥展 H16 飯山の美術家展			有
19	小山オサム	絵画	油彩	飯山市	静岡県	H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち	H14 個展		—
20	齋藤一郎	絵画	和紙絵画	飯山市 岡山	千葉県	H11 斉藤一郎展 H16 飯山の美術家展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち			有
21	酒井和子	絵画	水墨	飯山市柳原	東京都		H18 個展		—
22	柴田長俊	絵画	日本画	上越市	軽井沢町	H22 北信濃に原風景を見た美術家たち H25 祈りの風景柴田長俊展		飯山北高校卒業	有
23	関修	写真	人物/風景	飯山市	同		H22 個展		—
24	関智生	絵画		奈良県	名古屋市		H17 個展		—
25	瀬島匠	絵画		広島県因島市	東京都	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
26	高橋まゆみ	—	創作人形	長野市	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
27	滝純一	絵画	デッサン等	木島平村	福岡県	H16 飯山の美術家展		飯山北高校卒業	—

作家一覧【現役】

* 作家名50音順

* 2016/5/12現在 飯山市美術館

No	作家名	種別		出身地	在住地	展示実績		備考	収蔵 有無
						企画展	ギャラリー展		
28	田窪恭治	風景美術		愛媛県今治市	習志野市			H26飯山市内菓子店壁画等	—
29	田中渉	絵画	油彩	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
30	千坂経悦	陶芸		宮城県	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
31	中川岳二	木工		埼玉県	中野市				—
32	野口俊文	絵画	油彩等	木島平村	長野市	H20 木原正徳・野口俊文二人展 H22 北信濃に原風景を見た美術家たち		飯山北高校卒業	—
33	長谷川豊	工芸	陶芸	東京都	飯山市	H16 飯山の美術家展			—
34	馬場剛史	絵画		中野市	同		H15 個展		—
35	原田卓三	絵画		愛知県	大阪府	H21 五郷分校の作家たち展	H16 グループ		—
36	藤岡牧夫	絵画		木曾谷	東京都				—
37	藤巻翔	写真	アクト・7 フォトグラファー	飯山市	神奈川県		H26 個展		—
38	松澤芳宏	絵画	油彩等	飯山市 静間	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遥の画家たち展			—
39	丸山高司	絵画	日本画	飯山市	同		H17 個展		—
40	丸山東子	絵画	日本画	サハリン 飯山育ち					—
41	森川賢道	工芸	鍍金/茶道具	須坂市	京都府				—
42	森田千晶	工芸			埼玉県			和紙の仕事大賞	有
43	山田真巳	絵画	日本画	東京都	同				—
44	柳沢京子	絵画		北佐久郡 浅科村	長野市				有
45	柳澤秀紀	絵画	リアルイラスト	長野市 (旧豊野町)	長野市		H15 個展 H20 個展		—
46	吉越隆師	絵画	日本画 水墨画	飯山市常盤	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遥の画家たち展			—
47	米林 雄一	彫刻		東京都	小布施			H30企画展作家として検討中	
48	鷲森秀樹	絵画	油彩	飯山市	フランス				有

作家一覧【物故】

* 作家名50音順

* 2015/6/19現在 飯山市美術館

No.	作家名	種別		出身地	活動拠点	展示実績		備考	収蔵有無
						企画展	ギャラリー展		
1	相原求一朗	絵画	油彩	川越市	同	H10 相原求一朗展 H18 相原求一朗展		遺族川越市在住	有
2	岩上隆静	絵画	水彩	飯山市	同	H14 岩上隆静展 H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展	H26 追悼展		有
3	岡田千春	絵画	油彩	飯山市	同	H16 飯山の美術家展 H24 北信濃逍遙の画家たち展		遺族飯山市在住	有
4	岡登 貞治	絵画	油彩	飯山市	東京都			常設展示	有
5	小野沢健一	彫刻	木造	飯山市	神奈川県	H16 飯山の美術家展		H26. 5. 31逝去	有
6	大塚可南	書道	—	飯山市木島	同	H16 飯山の美術家展			—
7	金木寿遷	書道	—	飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H23 個展 H23 新収蔵品展	遺族飯山市在住	有
8	河野文夫	絵画	油彩	佐賀県	野沢温泉村	H15 河野文夫展			—
9	岸田陸象	彫刻	仏像	飯山市				遺族埼玉県在住	—
10	児玉果亭	絵画	日本画	山ノ内町					—
11	小林起一	コンセプチュアル		飯山市	同	H16 飯山の美術家展	H22 追悼展 H23 新収蔵品展		有
12	佐久間雲窓	絵画	日本画		飯山市			飯山藩士の子息	—
13	佐藤武造	絵画	水彩/漆画	飯山市	佐々木東京都	H12 佐藤武造展	H20	遺族東京都在住	有
14	武田雲室	絵画	日本画					市内光蓮寺出身	—
15	武村次郎	絵画	油彩	横須賀市				飯山の風景画多数制作	有
16	寺瀬黙山	彫刻	木造/乾漆	飯山市	中野市			遺族中野市在住	有
17	白隠	絵画	禅画	駿河国	同	H12 特別企画展白隠禅師		正受庵で修業	—
18	長谷川青澄	絵画	日本画	飯山市	東大阪市	H9 長谷川青澄展Ⅰ・Ⅱ H10 長谷川青澄展Ⅲ H11 含翠会展（青澄画塾展） H16 飯山の美術家展 H17 画人長谷川青澄追悼展 H19 長谷川青澄挿絵原画展 H23 画人長谷川青澄の世界 H26 没後10年記念展	H16 個展 H20 個展 H23 新収蔵品展	遺族東京都在住	有
19	本多焦風	絵画	日本画					飯山に疎開	有
20	松田暢夫	絵画	油彩	飯山市	大町市				—
21	村山弘	絵画	油彩	飯山市	名古屋市		H23 新収蔵品展		有
22	三ツ井愛之輔	絵画						飯山中学教員	—
23	宮澤鉄夫	絵画	日本画	飯山市	東京都	H9 宮澤鉄夫企画コーナー			有
24	箕口博	彫刻	木造	飯山市		H23 箕口博彫刻展	H19 個展 H23 新収蔵品展	遺族滋賀県在住	有
25	山本直治	絵画	油彩	大阪府	大阪府			飯山の風景画多数制作	有
26	森本香谷	絵画						飯山中学初代美術教師	(有)
27	山田晃	絵画	水彩	中野市					—
28	横井弘三	絵画	油彩	飯田市					有